

2021年10月18日

関係各位

公益財団法人 日本卓球協会
ルール・審判委員会
委員長 善部 政和

ペンホルダーラケットの裏面の色について（通知）

10月1日改定・実施の基本ルール 1.4.6 について、9月下旬より何件か問い合わせをいただきました。

日本卓球ルール 第1章 基本ルール 1.4.6（抜粋）

1.4.6 ラケット本体を覆っているラバーの表面、あるいは被覆されていない本体の表面は無光沢で、片方は黒、他方は片方の黒やボールの色とはっきり区別できる明るい色とする。

（注）波線のアンダーラインは国際卓球連盟が2020年に改定し2021年10月1日に施行するものであることを示す。

ルール・審判委員会として基本ルール 1.4.6 に関して以下のとおり指針を作成しましたので通知します。

【ペンホルダーラケットの裏面の色に関する指針】

1. 片面に国際卓球連盟（ITTF）あるいは日本卓球協会（JTТА）が公認した黒色以外の明るい色（赤色、緑色、青色、すみれ色（バイオレット）、ピンク色／紫色）のラバーを貼り、裏面にラバーを貼らない場合、貼らない面の色は無光沢の黒色でなければなりません。
2. 片面に黒色のラバーを貼り裏面にラバーを貼らない場合、貼らない面の色は片面の黒色やボールの色とはっきり区別できる無光沢で明るい色でなければなりません。

ただし、日本卓球協会としては、貼らない面に着色する色は現場での色の判断を考慮して ITTF あるいは JTТА が公認したラバーの色を推奨しますが、特に赤色を推奨します。

以上